

# 事故は語る ～巨大化する事故の裏側～ 1998 - 2003

日経BP社、271頁

ISBN 4-8222-0593-2 (定価 2400円 + 税) 2003年5月6日発行



## 〔目次〕

### 序章

たった一つの真実を求めて

#### 第1章 自動車

三菱自動車、34万台を越すリコール 他

#### 第2章 航空・鉄道

空中分解したスペースシャトル 他

#### 第3章 電子・機械

未曾有のHDD不良多発 他

#### 第4章 建築・土木

テロに沈んだ世界貿易センター 他

#### 第5章 原子力

「東海村・臨界事故」の真相

東電、約10年も点検記録改ざん

福島第一原子力発電所6号機の低サイクル疲労

敦賀1号機のシュラウド数百の亀裂

本書は、1998年から2003年にかけて起こった国内外の事故やトラブルの真相を月刊雑誌「日経メカニカル」に連載した記事をもとに加筆したものである。1998年には同じタイトルで40事例を掲載したものが日経BP社から発行されている。続編となった本書には、前書と同様に機械技術や材料技術という視点から事故や不具合がどのようなメカニズムで発生したかを図解や写真を用いてやさしく解説している。

読者は、新聞記事に取り上げられないような小さな不具合事例も多数掲載されていることから、予期せぬ落とし穴を知り、事故やトラブルの発生においてよく言われる「このようなことは思いもかけなかった」という、些細な綻びから事故や不具合が発生していることを実感できる構成となっている。

事件事例や不具合事例から教訓を学び、同じような轍を二度と踏まないような対策を講ずることが理想である。しかし、現実問題として事件事例を読んだだけで安全強化につながるような対策を考えつくのは非常に難しい。事故や不具合に至らしめた“思いがけない原因とは何か”、できるだけ広い分野から多くの事故原因の知識を身につけ、職場の安全に役立てることが読者に望まれている。